

第 1 回 吹田市第 5 次総合計画等策定支援業務
プロポーザル選定委員会 開催結果概要

- 1 日時
令和 8 年 7 月 14 日（火）午前 10 時～午前 11 時
- 2 場所
吹田市役所 高層棟 4 階 特別会議室
- 3 出席者
【委員】行政経営部長（委員長）、都市魅力部長、児童部長、健康医療部長、
都市計画部長
【事務局】企画財政室職員
- 4 案件
(1) 選定会議の進め方について
(2) 公募型プロポーザル実施要領等について
(3) 評価項目について
(4) その他
- 5 議事概要
(1) 事務局が出席者数の確認（委員 5 名中 5 名出席）を行い、吹田市第 5 次総合計画等策定支援業務プロポーザル選定委員会設置要領第 5 条第 2 項に定める定足数を満たし、本会議が成立していることを確認した。
(2) 次第及び各案件について、資料に基づき事務局から説明を行った。以下の議論の結果、委員の意見を踏まえた実施要領（案）の修正については委員長に委ねることを確認した。

<実施要領に関する質問・意見>

番号	項目	質問・意見	事務局回答・対応
1	審査基準及び採点表について 【業務実績に関する事項】	業務実績について、書き漏れを防ぎ、公平に加点するため、複数あれば配点が高くなることが事業者に分かるように記入してはどうか。	各配点の下に、複数ある方が配点が高くなることを明確にして記載する。
2	審査基準及び採点表について 【提案内容に関する事項】	①社会情勢を踏まえ、本市の現状の課題を的確に把握しているかについて ・市が把握している現状、課題を業者に示す方がよいのではないかと。 ・「分析」という言葉を入れてはどうか。	本市の課題について、事業者にも本市の現状、課題を分析、把握してもらいたい。文言を加えて修正する。
3	審査基準及び採点表について 【提案内容に関する事項】	④適切な指標の設定についての提案がなされているかについて、「適切」とは何を指すのか。事業者が第 4 次総合計画を参考にすると、多くの指標を提案する可能性がある。個別計画と役割分担をして、総合計画にふさわしい、大局的な視点を踏まえた指標を提案してもらう必要がある。	第 5 次総合計画で想定している指標のイメージが伝わるように、より具体的な文言を加えて修正する。

番号	項目	質問・意見	事務局回答・対応
4	審査基準及び採点表について 【実施体制及び工程に関する事項】	①本業務を迅速に遂行し得る体制を整えているかについて、業務のスピード感も必要だが、スケジュールに沿って、着実に進めることも重要であるため、「円滑に」としてはどうか。	「迅速に」を「円滑に」に修正する。
5	審査基準及び採点表について 【実施体制及び工程に関する事項】	②担当者の本業務に関する経験及び実績は十分かについて、成果物等は担当者の能力によって変わってくるため、評価についてより重きを置いてもよいのでは。	支援業務は担当者のみでなく、責任者を含めたチームで対応いただくものであり、そのことも踏まえて十分に対応できる体制かを確認したいと考えている。業務担当者の実績等については提出書類の「業務実施体制調書」から、現状の評価配点にて評価いただく。

<仕様書・その他に関する質問・意見>

・総合戦略の策定支援について、国の手引きはよく変更されるため、国の手引き等を踏まえることや、情報収集をすることなどを追記した方がよいのでは。

・子供・若者の意見聴取について、明記している箇所はどこか。

・参加事業者の見込はあるか。